

障害者グループホームの指定について

障害者のグループホームを運営するには、県の「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例」（以下基準条例という。）に基づき、障害福祉サービス事業所の指定共同生活援助事業の県の指定を受ける必要があります。

基準条例中には、設置場所については次の要件があります。

- グループホームは住宅地又は住宅地と同程度に家族や地域住民との交流の機会が確保される地域にあること。
- 入所施設、通所施設、病院の敷地の外に設置しなければならないこと。

その理由は、グループホームには、

- ・利用者に対して、家庭的な雰囲気の下、指定共同生活援助を提供する
- ・地域との交流を図ることによる社会との連帯を確保することが求められているため。

事業所の指定基準については、平成25年度より各県において制定した基準条例によるものとなったところですが、千葉県においては、グループホームの立地要件について、国の基準に上乘せし、入所施設及び病院に加えて、日中活動の場である通所の事業所についても敷地外の設置を求めています。

具体的には、グループホームの立地の要件として、以下の3要件をいずれも満たすことを確認し、県の指定を行っているところです。

- 1 周辺に民家等があること。
- 2 市道（公道）等により、共同生活住居と日中活動の施設が空間的に分断されていること。
- 3 原則、共同生活住居の利用者が、当該日中活動の施設に通所することのないこと。

昨今、障害の重い方、身体障害のある方のためのグループホームを設置する際に、グループホームのそばに日中活動の場を設置した方が、利用者の支援によりよい場合があるとの声もあるため、この方針の見直しの必要性や方向性について、ご意見をいただきたい。

（参考：基準条例及び条例解釈通知該当箇所抜粋）

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例（平成二十四年十二月二十一日条例第八十八号）抜粋

第百九十八条 指定共同生活援助に係る共同生活住居は、住宅地又は住宅地と同程度に利用者の家族や地域住民との交流の機会が確保される地域にあり、かつ、入所により日中及び夜間を通してサービスを提供する施設（以下「入所施設」という。）若しくは通所により主として日中においてサービスを提供する事業所（以下「入所施設等」という。）又は病院の敷地外にあるようにしなければならない。

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例について（平成26年8月18日障第1682号 千葉県健康福祉部障害福祉課長通知）抜粋

第十四 共同生活援助

2 設備に関する基準（条例第198条）

（1）立地（条例第198条第1項）

指定共同生活介護事業所の立地については、利用者に対して、家庭的な雰囲気の下、指定共同生活援助を提供するとともに、地域との交流を図ることによる社会との連帯を確保する観点から、入所施設等や病院の敷地内に立地されるのではなく、住宅地又は住宅地と同程度に家族や地域住民との交流の機会が確保される地域の中に立地されること。

この場合、開設及び指定申請時においては、都市計画法（昭和43年法律第100号）その他の法令の規定や、土地の所有関係により一律に判断するのではなく、指定共同生活介護事業所を開設しようとする場所の現地調査等により、周辺の環境を踏まえ、地域の実情に応じて適切に判断されるべきものである。